

# 加古川市 記事提供資料

記事提供日：令和5年11月6日

タイトル	平荘小学校の伝統・第23回狂言発表会		
と き	令和5年11月23日（木・祝）午後1時30分～3時00分 雨天の場合は11月26日（日）に延期		
と ころ	加古川市平荘町山角478 平之荘神社 能舞台		
主 催 者	加古川市立平荘小学校・平荘狂言教室後援会		
内 容（具体的に）	（23回目・恒例）		
<p><b>【ねらい】</b> 日本の伝統文化を調べたり演じたりすることによって伝統文化を理解するとともに、地域の文化財に興味を持ち、自分の住んでいる地域・郷土を大切に思う態度を養う。</p> <p><b>【実施の経緯】</b> 以前、国語の教科書にあった狂言「附子（ぶす）」の学習を、朗読や演技を通して楽しんでいた。23年前からは、平之荘神社のご厚意により能舞台で演じることができるようになった。毎年大蔵流狂言方の山口耕道先生より演技のほか、発声や所作の指導も受け、全校生や保護者、地域の方々に披露することが本校の伝統となっている。平成28年度に発足した「平荘狂言教室後援会」に全面的に協力していただき、地域をあげた取り組みとなっている。今年度は平荘狂言学習としての集大成の年となる。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演目 「附子（ぶす）」「柿山伏（かきやまぶし）」「猿唄（さるうた）」</li> <li>・演者 平荘小学校 6年生 33名</li> <li>・その他 各自が画用紙で工夫して作成した肩衣を身につけた袴（かみしも）姿で、33人がリレー形式で狂言を演じる。毎年、6年生は、狂言発表会に向け様々な取り組みをしている。児童は1年生の時より、先輩たちが演じてきた狂言を楽しんできており、学年が進むにつれて、6年生になったらあの舞台に立って狂言を演じるという思いを強くしてきた。</li> </ul> <p>この狂言への取り組みの様子は、兵庫県道徳副読本「心きらめく」（小学校3・4年）にも「ほくの町のたからものー平之荘能舞台ー」として取り上げられている。</p> <p>《山口先生来校の練習日程》  10月12日（木）・10月24日（火）・11月2日（木）・11月7日（火）  11月16日（木）  11月20日（月）・・・リハーサル  11月23日（木・祝）・・・狂言発表会（予備日：11月26日）</p>			
参加者（対象・人数等）	児童（1～6年生） 124名 （演者は6年生33名） 保護者・地域の方々 約300名		
問合せ先	部課名：加古川市立平荘小学校 校長：進藤香代 教頭：藤原裕憲 / 電話：(079) 428-0014		
市ホームページ	...	掲載済み	掲載予定（○月○日）
			<input type="checkbox"/> 掲載しない
広報かがわ	...	○月号に掲載済み	掲載予定
			<input type="checkbox"/> 掲載しない